

詩について調べる



埼玉県マスコット
「コバトン」

目 次

- 1 「詩」について知る
 - 2 特定の詩について知る
 - (1) 作品について調べる
 - (2) 詩人について調べる
 - 3 詩の雑誌について知る
 - 4 教科書に掲載された詩について知る
- 番外編
～実際の教科書を確認したい場合～

自分の気持ちや言葉を表す形に「詩」という手法があります。音の響きやリズム等の変化で、自由に表現できることが魅力の一つです。

今回は詩の知識とともに、先人たちの作品を鑑賞し学ぶための資料を紹介します。

キーワード例：

詩／詩人／詩集／詩誌／近代詩／現代詩／
叙情詩／叙景詩／叙事詩／ポエム／など

アイコンの説明



参考図書（館内利用）



図書



雑誌



インターネット情報

1 「詩」について知る

まずは、「詩」とはどのようなものか調べてみましょう。



『世界大百科事典』全34巻 (平凡社 2005)

総項目数40万以上を誇る有数の百科事典。各分野の項目や図版を幅広く収録し、さまざまな事柄の意味を学習できる。



『日本秀歌秀句の辞典』

(小学館辞典編集部編 小学館 1995)

『万葉集』に収録された和歌から俵万智の作品まで、あらゆる時代の優れた詩歌作品を収載。時代ごと・内容ごとに掲載されており、作者名・キーワード・地名・季語などの索引から多数の詩歌を鑑賞することができる。



『日本現代詩辞典』

(分銅惇作〔ほか〕編 桜楓社 1986)

明治時代から現代までに詩壇に登場した人々を紹介。詩人名や詩にまつわる用語、詩に関連した雑誌について掲載している。



『現代詩大事典』(大塚常樹 [ほか]編 三省堂 2008)

現代詩に関連した人物や事項を網羅した一冊。各人の代表的な詩について鑑賞のための解説を掲載している。

2 特定の詩について知る

作品名、作者名などから、それぞれの詩を網羅的に調べる情報を紹介します。

(1) 作品について調べる



『詩歌全集・作品名綜覧 (現代日本文学綜覧シリーズ8)』

(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 1988)

『詩歌全集・内容綜覧 (現代日本文学綜覧シリーズ6)』に収載された9万点超の作品をタイトルで検索可能。シリーズを合わせて活用することで、作品を網羅的に確認できる。



『日本の詩歌全情報 27/90』

(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 1992)

1927年から1990年の間に発表された個人の作品集・選集と合集の情報を掲載。2万人を超える作家の作品が収録されている。以降2005年まで5年ごとに刊行されており、時代の変遷も調査できる。



『詩歌・俳人個人全集案内 第2期 (作品名から引ける日本文学)』

(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 2005)

1984年から2003年の間に刊行された個人の全集や作品集などを多数収録。明治時代以降の詩歌に携わった人々の作品を調べることができる。



『詩歌・俳句の賞事典』

(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 2015)

日本国内の詩歌・俳句に関連した賞の受賞情報を掲載している事典。各賞の受賞歴や作者名から調べることができる。



『日本現代詩選 第41集』

(『日本現代詩選』編集委員会編 日本詩人クラブ 関東図書(発売) 2024)

日本詩人クラブ会員の作品を収集した詩選集。2017年からは「新しい詩の声」と題した公募の作品賞を開催しており、新たな詩人の作品も掲載されている。

(2) 詩人について調べる



『詩歌作者事典』(詩歌作者事典刊行会 [ほか]編 鼎書房 2011)

古代から現代の詩人に関する人物像や経歴を掲載。人物名だけでなく伝承上の名称等も網羅しており、逸話や作風の変遷を知ることができる。



『詩歌人名事典 新訂第2版』

(日外アソシエーツ株式会社編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 2002)

明治時代から現代までの詩人・歌人・俳人を紹介。6000名を超える人物の作品や受賞歴を掲載している。

3 詩の雑誌について知る

詩が掲載された雑誌の情報を紹介します。



『現代詩誌総覧』

(現代詩誌総覧編集委員会編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 1996-1998)

日本国内で大正後期から昭和前期の間に刊行された詩誌を収録した総目次集。各作品の解題や発行時の定価、装丁や掲載広告等の情報を記載。全7巻で構成されており、人名や書名から調査できる。



『戦後詩誌総覧』

(和田博文【ほか】編 日外アソシエーツ 紀伊国屋書店(発売) 2007-2010)

1945年から1975年までに刊行された詩誌の情報を収録。全8巻で、戦後の詩史を網羅。人名・書名索引付きで、解題とともに各資料の形態に関する情報も調査できる。



『現代詩手帖』(思潮社 1959-)

隔月で刊行されている現代詩を主とした詩誌。「現代詩手帖賞」という賞を主催しており、詩の流行を捉える記事を掲載している。



『詩と思想』(土曜美術社出版販売 1972-)

隔月で刊行されている総合商業誌で、詩人が自身で編集を行うという制作過程が特徴の雑誌。

詩人たちのための創作の場として、「詩と思想新人賞」も運営している。



『ユリイカ』(青土社 1956-)

隔月で刊行されている総合芸術誌で、詩を中心に批評や文学作品も収録されている。詩壇における新たな発見に力を入れており、発掘として投稿欄の中から新人賞の選出も行っている。

4 教科書に掲載された詩を知る

学習の教材として教科書に掲載された詩を調べるためにインターネット情報を紹介します。



《国立教育政策研究所教育図書館》

(<https://www.nier.go.jp/library/> 国立教育政策研究所)

江戸時代から現在まで、幅広い資料を所蔵する教育図書館。「蔵書検索」から「近代教科書デジタルアーカイブ」「国定教科書内容索引」などのデータベースを利用できる。年代による検索制限あり。



《東書文庫》

(<https://www.toshobunko.jp/> 東京書籍)

教科書の出版を行う会社「東京書籍」が運営する教科書図書館。所蔵している教科書について、著者名や作品名から検索することができる。



《教科書クロニクル》

(<https://www.mitsumura-toshobunko.co.jp/webmaga/chronicle> 光村図書)

教科書の出版を行う会社「光村図書」が発行した国語の教科書を検索できるデータベース。生年月日から小学校・中学校の頃に使用していた教科書に掲載された作品を確認できる。



番外編～実際の教科書を確認したい場合～

教科書の実物を確認したいときには、専門的に資料を収集している施設を活用しましょう。

1. 「国立教育政策研究所教育図書館」を利用する

教育に関する様々な資料を所蔵する図書館で、教科書だけでなく教育改革の資料等あらゆる資料を網羅しています。来館は事前予約制のためウェブサイトをご確認ください。
(<https://www.nier.go.jp/library/> 国立教育政策研究所)

2. 「教科書センター」を利用する

教科書センターは、教科書の展示の他、教育・指導に役立つ資料を提供する場所です。都道府県や市町村によって各地に設置されています。埼玉県内では、埼玉県立総合教育センター教育資料室などが指定されています。それぞれ利用の条件等が異なりますので、詳しくは下記ウェブサイトや各センターの情報をご確認ください。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/center.htm#a001 文部科学省)



埼玉県立図書館

ウェブサイト QR コード

発行：埼玉県立久喜図書館 芸術・文学資料担当

久喜市下早見 85-5 Tel:0480-21-2659